

さいたま市長メッセージ（令和3年3月30日）

皆さん、こんにちは。さいたま市長の清水勇人です。

緊急事態宣言が解除されて1週間が経ちました。市民の皆様には、飲食を伴う花見や謝恩会、送別会などの自粛にご協力いただいていることに、感謝申し上げます。

しかしながら、県内では、カラオケ大会で複数の陽性者が発生しており、引き続き、感染リスクが高まる場面を避けるなど、注意が必要な状況です。

本市では、3月28日までの1週間に2,753件の検査を行い、新規陽性者は136名で、前の週からほぼ横ばいとなっています。一方で、療養者は286名となっており、依然として高い水準にあるため、気を緩めることなく、感染症対策に取り組むことが必要です。

埼玉県に先立ち、緊急事態宣言が解除された大阪府などの地域では、感染の再拡大がみられます。感染のリバウンドを完全に防ぐことは困難ですが、少しでも拡大を抑えるために、本市では、ワクチン接種の準備や、高齢者施設でのクラスター対策など、感染拡大防止に努めてまいります。

さて、本市には、高齢者用として約1,500人分のワクチンが、来週以降に届くことになっています。供給量が非常に限定的なこともあり、まずは特に感染リスクが高いと考えられる、高齢者施設の入所者等を対象として接種を実施してまいります。

その後、ワクチンの供給状況が明確になりましたら、ご高齢の方から段階的に接種券を送付するなど、滞りなく接種できるように取り組んでまいります。

速やかな接種には、医療や介護の現場の協力が欠かせません。現場の負担を少しでも軽くするために、引き続き、感染症対策に取り組んでいきたいと思います。